


農学部研究シーズ 2014

所属・職・氏名	共生環境課程・准教授・國崎 貴嗣	
紹介する研究シーズ名	手入れ不足な過密人工林の改善技術	
キーワード	密度管理、個体管理、下層植生	

シーズの「売り」は！！

過密化した針葉樹人工林の環境保全機能を改善します。

- ① 岩手県のみならず、全国各地で手入れ不足で過密化した人工林が問題になっています。
- ② 私たちは、岩手県内のスギ無間伐人工林で 15 年以上にわたって継続調査したデータと、多様な混み具合を示すスギ人工林 169 林分の林分構成データを組み合わせ、過密なスギ人工林を適確に改善するための密度管理指標（相対幹距）を探索しました。
- ③ アカマツ、カラマツ人工林でも、過密を解消する相対幹距の基準値を把握しています。
- ④ 相対幹距と林内光環境との関係、林内光環境と下層植生の繁茂状態との関係をモデル化することで、水土保持機能や生物多様性保全機能の向上に不可欠な下層植生を確保します。



写真1 雪害を受けた過密スギ林



写真2 間伐直後のスギ人工林

【研究シーズの応用例・活用分野・展望】

木材生産林における間伐・主伐，木材生産と公益的機能のバランス化

関連特許・関連資料等 なし